

令和2年(2020年)6月21日(日曜日)

ブランド米作りへ田植え

GW三島秋にも新銘柄登録申請

三島産のブランド米 人グラウンドワーク 作りを目指すNPO法 (GW) 三島は20日、



ブランド米作りに向けて田植えに取り組む参加者
＝三島市松本

三島市を流れる源兵衛川の清流で育てる水稲3品種の苗を同市松本の田んぼに植え付けた。秋に収穫し、地元産の新銘柄米として農林水産省に登録申請を行う予定。

品種は、同市の「松毛川の森を守る活動」などでGW三島と関わりがある日本たばこ産業(JTI)の植物イノベーションセンター(磐田市)が過去に開発し、その後の事業廃止で目の見なかつ

た「いわた5号」「いわた8号」「いわた12号」。GW三島は2018年から新銘柄米の栽培と研究を続け、「水の都」と言われる三島のブランド米にふさわしい品種を検討してきた。

今年計4千平方メートルの田んぼで栽培し、田植えには農業ホランテアやGW三島のスタッフら15人が参加した。収穫後の10月には、食味や栄養価などこれまでの3年間で続けてきた分析結果を添えて農水省に申請する。名称は公募で決める予定で、いずれは酒や焼酎なども製造したいとい

(三島支局・金野真仁)